



ゴーン逃亡、トランプによる殺人

年末年始の大事件はゴーン逃亡とトランプによるイランのスレイマニ司令官殺害だった。

そのお金はどこから？

箱の中に身を潜めて日本を密出国。まるで007のようですね。

ゴーンは村山工場などを閉鎖、四万人の餓を切り、資産売却、生産拠点の海外移転で利益を出した。二〇一一年から二〇一五年に合計約九九億円の金銭報酬(有価証券報告書では約半分にごまかし)を得、ペイルート等に日産に豪邸を用意させた。

その金で十五億の保釈金を払い、二二億もかけてプライベートジェット機を動かした。

労働者の犠牲に思いを馳せることも無く、証拠も示さず裁判制度を批判。

裁判もなしに死刑

トランプ大統領はイランの革命防衛隊ソレイマニ司令官殺害を指示。

戦争中であれば敵軍の司令官を殺すのは合法かも知れない。しかし、イランとトランプは対立はしているが戦争はしていない。

自衛の為とか、テロリストだと云うが、逮捕され証拠に基づき裁判で死刑の判決が下された訳でもない。

これは殺人だ。

第二次大戦中、日本軍の兵士は「上官の命令は天皇陛下の命令だ」と、裁判も無しに捕虜を処刑。その為、戦犯として多数処刑された。これに照らせばトランプだけでなく関与した軍の幹部、兵士も責任を問われる。あなたはどうか思われますか？

津久井湖 城山より

神奈川県相模原市緑区城山

二〇二〇年一月



相模川を城山ダムで堰き止め「津久井湖」が出来た。それまでは相模川は絵の左から右に流れていた。

「城山」ダムと云うのは、相模川右岸に城山があるから。その城山の頂上からこの絵を描いた。

「城山」は「津久井城山」とも呼ばれる。鎌倉時代に三浦半島を支配していた三浦氏によって、標高三七五mの山に津久井城が築かれた。

戦国時代には、小田原を本拠とした後北条氏の家臣の城となった。山の頂上近くに家老らは屋敷を構えていた。

城は秀吉の小田原攻めの時に落城。以後、城が作られたことはなく、山頂に遺構が残るのみ。

江戸時代には幕府直轄領となったが、山裾に代官が陣屋をおいていた。

